

# タケトップ 遮熱

《水性艶消し・弾性・防滑タイプ 軽歩行可能》

タケトップ遮熱は、特殊変性アクリル系防水層用水性遮熱塗料です。高反射性顔料とセラミックバルーンの相乗効果により太陽光の近赤外波長域を反射するので、抜群の遮熱性能を発揮します。既存防水層の温度上昇を抑制する効果が高く、熱による防水層の軟化や伸び等で起こる捲れ、膨れなどのトラブルを低減しメンテナンスサイクルの長期化や室内温度の上昇を抑えることにより、エアコンの使用を減らし電気代の節約となります。

## 特徴

### 環境配慮型塗料

水性特殊エマルジョンを使用した安全性と作業性に優れた水性塗料です。

### 優れた遮熱断熱性

赤外線反射に優れた顔料とセラミックバルーンの相乗効果で優れた遮熱性能を発揮します。

### 防水層の保護

遮熱効果に優れている為、下地防水層を赤外線から長期的に保護します。  
また、弾性塗膜である為、下地の動きに対する追従性、耐久性、耐摩耗性にも優れています。

## 用途

ウレタン防水・水性防水・加硫ゴムシート防水・アスファルトシート防水・塩ビシート防水層の保護・美装・遮熱

## 塗装仕様

下地	ウレタン防水 (改修) ※1	水性防水	アスファルト シート防水	加硫ゴム ※2 シート防水	塩ビ シート防水	タケシール #101カラー (新設)	タケシール 1液 NEOプラス (新設)
下地処理	ゴミ・埃・土・油脂分等の付着物を高圧洗浄機等を使用して洗浄除去します。 洗浄後は十分に乾燥養生を行います。					乾燥硬化していることを確認の上 (歩行可能な状態)	
プライマー	タケシールAQ層間プライマーA 0.1kg/m <sup>2</sup> ※3			タケシールゴムシート プライマー 0.1kg/m <sup>2</sup>	タケシール塩ビシート プライマー 0.1~0.12kg/m <sup>2</sup>	タケシールNo400プライマー 0.1kg/m <sup>2</sup>	
塗装間隔 (20℃)		2時間以上		2時間以上		3~5時間以上・12時間以内	
タケトップ 遮熱 1回目	0.4~0.6kg/m <sup>2</sup>		0.4~0.8kg/m <sup>2</sup> ※3		0.4~0.6kg/m <sup>2</sup>		
塗装間隔 (20℃)		2~3時間以上					
タケトップ 遮熱 2回目	0.4~0.6kg/m <sup>2</sup>		0.4~0.8kg/m <sup>2</sup> ※3		0.4~0.6kg/m <sup>2</sup>		
塗装間隔 (20℃)		2~3時間以上					

- ※1 ウレタン防水層は改修としての場合となります。新しいウレタン防水層(打設後3年以内)の場合はご相談ください。  
また、ウレタン防水層にタケシールAQ層間プライマーAを塗布する場合、事前にテスト塗り(密着確認)を行ってください。
- ※2 カラーゴムシート防水層には塗布しないでください。
- ※3 アスファルトシート防水の場合、下地の凹凸及び劣化の状況により塗布量が多くなります。

## 標準色

グレイ



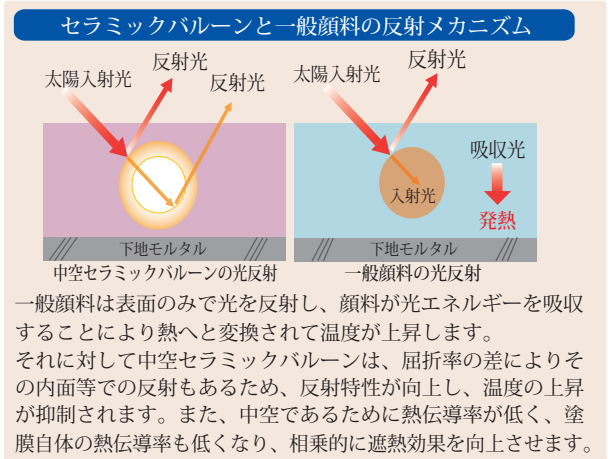
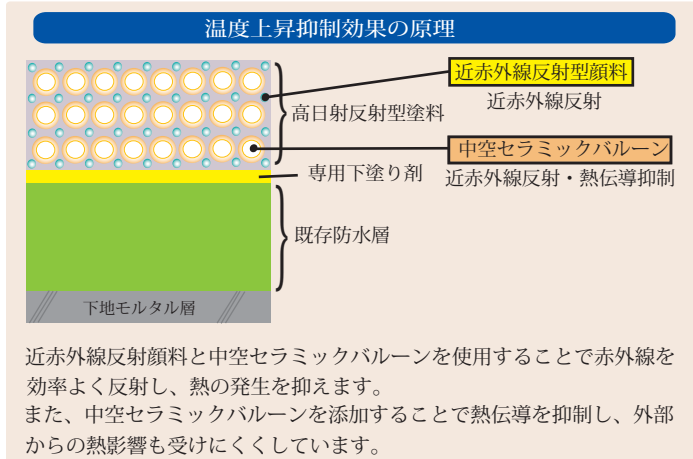
## 荷姿

4kgポリ容器 ・ 20kg缶

## 塗布可能面積

4kg 約2.5~5m<sup>2</sup>  
20kg 約12.5~25m<sup>2</sup>

## ◆ 遮熱のメカニズム



## 裏面温度比較データ

下地	タケシール #101 カラー防水	砂付きアスファルトルーフィング	ゴムアスファルトシート防水	加硫ゴムシート
無塗装裏面温度	58.3℃	61.2℃	71.8℃	62.3℃
塗装後裏面温度	43.9℃	43.6℃	42.9℃	44.1℃
裏面温度差	-14.4℃	-17.6℃	-28.9℃	-18.2℃

注：上記データは、夏季晴天で気温32.5℃時に屋外で防水層の裏面温度を測定したものです。指定色ホワイトを各防水材に規定量塗布。建物の構造・条件によっては、室内温度に効果が得られない場合があります。予めご了承ください。

## 施工上の注意事項

- ・気温5℃以下、湿度85%以上での塗装は避けてください。
- ・塗布後6時間以内に降雨、降雪が予測される場合は、施工をさけてください。
- ・塗装前に防水層の状態を良く調べ、破断、膨れ、巻れ、摩耗など劣化が著しい場合には、防水層自体を適切な方法にて補修を行ってください。
- ・被塗面の埃、ゴミ、油脂成分などは十分に除去してください。
- ・下地は、十分に乾燥させてください。
- ・ウレタン防水層仕上げ材には、水性塗料の密着が悪いものがあります。下塗り材にタケシールAQ層間プライマーAを使用する場合は、事前にテスト施工を行い密着の確認を行ってください。
- ・タールウレタン防水材、アスファルトピッチ系塗布防水材の上には塗布しないでください。
- ・タケトップ遮熱はできるだけ希釈しないでください。重質な骨材が配合されおり塗りムラができ仕上がりが悪くなる場合があります。やむをえず希釈を行う場合は、水道水を重量比で2%以内で行ってください。
- ・タケトップ遮熱を希釈した場合、以下の様な問題が起り易くなります。
  - ・粘度低下により、缶内の骨材沈降が生ずる。
  - ・低粘度化により、塗膜厚が所定よりも薄くなる。
  - ・塗膜内で顔料の分離や骨材の沈降が起り、塗膜表面が滑らかになり、凹凸感が無くなったり、色ムラを生じたりする。
  - ・塗膜表面に樹脂が浮き、表面はベタ付き、下層部に骨材が沈降する。
  - ・塗膜層内分離を起こす為、塗膜組成が不均一になり、接着力が低下する。
  - ・乾燥しにくくなり、残留水分が太陽熱により気化し、膨れの原因となる。
- ・使用する前には、内容物が均一な状態となるように攪拌してください。攪拌は、泡を巻込まないように注意してください。
- ・塗布量は規定量を塗布してください。一度に厚く塗ると乾燥過程でクラックを生じたり、乾燥時間が長くなり、夜露などで造膜不良を生じやすくなります。
- ・砂付きルーフィング等の凹凸が激しい下地に塗布する場合、薄く塗りすぎると隠蔽が悪くなったり、過度に厚く塗るとクラック生じることがあるので、規定量を均一に塗布してください。
- ・初めての防水層に塗布する場合は、必ず施工前に予備テストを行い、異常がない事を確かめてからご使用ください。
- ・塗料は均一に塗り、垂れ・溜まり・塗り残しがないようにしてください。特にコーナー部・ジョイント部には、刷毛などで念入りに塗布してください。

◆本カタログは、製品改良に伴い通知無く内容を変更する場合があります。ご了承ください。

- ・塗装用具は、使用後乾かない間に水道水にて洗浄してください。
- ・使いかけの材料は必ず密閉し、漏れたりしないように注意し、こぼれた場合は速やかに拭き取ってください。
- ・塗装完了後、初期に急激な降雨があった場合、排水溝部に泡が発生することがありますが、塗膜の異常によるものではありません。
- ・弊社仕様以外の仕様によるクレームには一切責任を負いません。

## 取り扱い上の注意事項

- ・取扱い中は皮膚に触れないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用してください。
  - ・防塵マスク・保護眼鏡・長袖の作業服・襟巻タオル・保護手袋・前掛け
- ・容器から取り出す時はこぼれにくいようにしてください。もしこぼれた場合は、ウエスで拭き取るか、砂などを散布した後、集め処理してください。
- ・皮膚に付着した場合は、直ちに多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化がある時は、医師の診断を受けてください。
- ・蒸気、臭いなどを吸い込んで気分が悪くなった時は、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診察を受けて下さい。
- ・眼に入った場合は、直ちに清純な水で注意深く洗い流しコンタクトレンズを着用していて安易に外せる場合は外すこと。その後を洗浄を続け、眼の刺激が残る場合は、医師の診断を受けてください。
- ・誤って飲み込んだ場合は、直ちに医師の診断を受けてください。
- ・取扱い後は、手洗い・うがい・鼻孔洗浄を十分に行ってください。
- ・容器は密閉し、40℃以下で子供の手が届かない一定の保管場所を定めて保管して下さい。特に雨水や直射日光の当たる場所、高温多湿の場所、潮風の当たる場所、凍結の恐れのある場所などでの保管は避けて下さい。
- ・内容物、容器、用具を廃棄する場合は、関係省令に基づき自社で適切に処分するか、廃棄物処理業者に委託して処分して下さい。
- ・詳細な内容が必要な場合は、安全データシート(SDS)を参照して下さい。
- ・本カタログ記載タケトップ遮熱以外の商品に付きまして詳しくは、個別のカタログ及び安全データシート(SDS)を参照して下さい。

製造元

お問い合わせ

**品竹化学工業株式会社**

〒577-0836 大阪府東大阪市渋川町3丁目1-43

TEL 06-6721-6165 (代)

ホームページ: <https://www.takebayashi-ci.com/>

Eメール: [inho@takebayashi-ci.com](mailto:inho@takebayashi-ci.com)

品質保持期限 出荷日より6か月